

第36回

☆お知らせ☆

「合同無料相談会」が

開催されます！

▼日時／12月10日（土）午後1時～4時

▼場所／但馬消費生活センター1階 豊岡市幸町7-11

▼相談電話番号／0796-2310999

▼相談内容／インターネットや商品の購入などの「契約トラブルに関する相談」、また、「借金関係の相談」、さらに「債務整理の相談」「家計管理の相談」「こころの相談」などにも対応します。

▼相談内容／インターネットや商品の購入などの「契約トラブルに関する相談」、また、「借金関係の相談」、さらに「債務整理の相談」「家計管理の相談」「こころの相談」などにも対応します。



☆消費者相談事例紹介☆

消石灰による失明発生

農業生産や家庭菜園において、農作物の生育を促す土づくりのために、消石灰が用いられています。

ホームセンター等でも販売されていますが、取扱いには十分注意する必要があります。

相談事例

80代の女性が、消石灰をバケツに入れて畑に散布中に転倒し、消石灰をかぶり両目に入ってしまった。化学外傷のため入院し治療を受けましたが、左目を失明しました。

注意事項

消石灰は、生石灰に水を加えてつくられる強アルカリ性の物質で「皮膚刺激」「重篤な眼の損傷」「呼吸器系の障害」を起す可能性があるため、取り扱いには厳重な注意が必要です。

お問い合わせ先

養父市消費生活センター
(0662-33170)

まちの文化財 ⑧5

～山路の郷蔵～



扉をひいて一棟だけ立っています。瓦葺2階建ての建物で、正面340^{センチ}、側面290^{センチ}、屋根までの高さは500^{センチ}あります。本体の前側は半間、後側は一間の幅ですが、屋根の幅はいずれも一間半です。つまり前側の屋根は庇を兼ねています。山路の郷蔵は、「災害から命をまもる」「物を大切に」「近隣どうしが助け合う」など、自助の精神を今の時代に無言で伝える歴史文化遺産です。この「郷蔵」のこのころを取り入れて、大屋地区で県民交流広場事業「郷蔵の会」（会長松田茂男氏）が作られました。

9月17日、「郷蔵の会」が災害に備えて炊き出し訓練を行いました。大屋市場には区のモミ蔵があります。モミ蔵も「平成の郷蔵」として、住民の交流と災害用の備蓄に利用するために整備されました。

天保7年（1836年）、大屋市場から西側の集落は出石藩から生野代官所に支配替えとなりました。安政4年（1857年）、大屋市場村が生野代官所に提出した困蔵の設置許可願いが残っています。

郷蔵や困蔵は、江戸幕府が飢饉対策として全国に設置を命じたものですが、但馬地方でも残っているのは大屋地区だけのようです。

（教育委員会社会教育課）